

令和7年度赤十字血液シンポジウム

【中四国ブロック】

血漿製剤・血漿成分製剤の臨床及び人工血液

日 時：令和7年11月29日（土）13：00～16：40

会 場：中四国ブロック血液センター1階ガイダンスホール
（広島市中区千田町2丁目5番5号）

開催形式：現地+Web 配信

※Web 定員は500名（先着順）とさせていただきます。



第1部 座長：麻奥 英毅（広島県赤十字血液センター 所長）

講演1 「現場でどう使う？血液製剤・分画製剤の適応と実践」
板垣 充弘 先生（広島赤十字・原爆病院 血液内科副部長）

講演2 「臓器移植におけるグロブリン製剤と血漿交換の役割」
大段 秀樹 先生（広島大学大学院医系科学研究科 消化器・移植外科学教授）

第2部 座長：芦田 隆司（日本赤十字社中四国ブロック血液センター 所長）

講演3 「iPS血小板—iPLAT1試験から第2世代製剤の開発へ」
杉本 直志 先生（京都大学 iPS細胞研究所 臨床応用研究部門 特定准教授）

講演4 「人工赤血球の開発と臨床現場での出番」
松本 雅則 先生（奈良県立医科大学 血液内科 教授）

■参加費は無料です。現地、Webともに事前申込が必要です。

■中四国ブロック血液センターホームページもしくはこちら→
から事前登録をお願いいたします。

参加登録期間：令和7年10月14日（火）～11月20日（木）

■本シンポジウムは以下の制度の単位となります。
・日本輸血・細胞治療学会等が指定する認定制度
・日本臨床衛生検査技師会生涯教育研修制度

[事前登録はこちら](#)



主催：日本赤十字社中四国ブロック血液センター

共催：広島県赤十字血液センター 日本輸血・細胞治療学会中国四国支部

後援：日本医師会 日本病院薬剤師会 日本看護協会 日本臨床衛生検査技師会 日本輸血・細胞治療学会



【お問い合わせ先】日本赤十字社中四国ブロック血液センター 学術情報課 TEL 082-241-1619